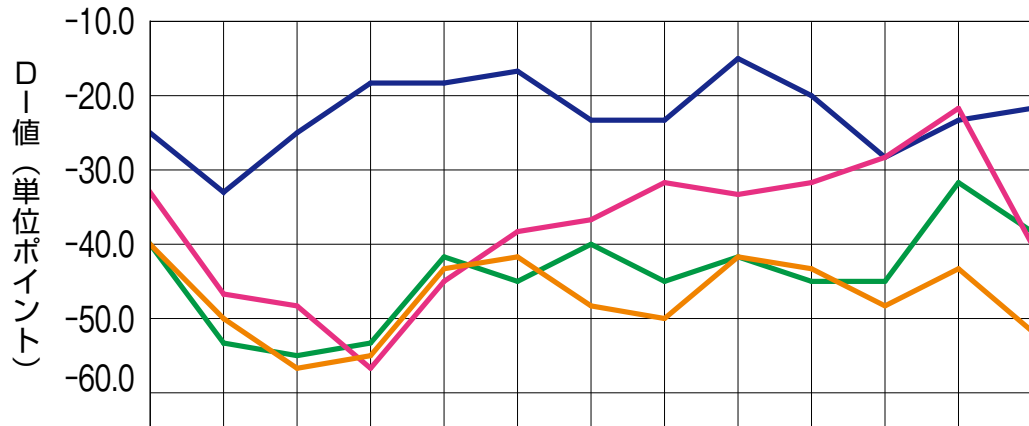


業界の景気動向（前年同月比）全業種 DI 値（平成 23 年 2 月～平成 24 年 2 月）



	平成23年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成24年 1月	2月
業績の景況	-40.0	-50.0	-56.7	-55.0	-43.3	-41.7	-48.3	-50.0	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7
売上高	-33.3	-46.7	-48.3	-56.7	-45.0	-38.3	-36.7	-31.7	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0
収益状況	-40.0	-53.3	-55.0	-53.3	-41.7	-45.0	-40.0	-45.0	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3
資金繰り	-25.0	-33.0	-25.0	-18.3	-18.3	-16.7	-23.3	-23.3	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7

概況

2月のDI値は前年同月に比べ、2項目で改善し、2項目で悪化した。「収益状況」DI値は1.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善し、「業界の景況」DI値は11.7ポイント、「売上高」DI値は6.7ポイントそれぞれ悪化した。前月比で見ると、「資金繰り」DI値は1.6ポイント改善し、「業界の景況」DI値は8.4ポイント、「売上高」DI値は18.3ポイント、「収益状況」DI値は6.6ポイントそれぞれ悪化した。製造業では、原材料価格の高止まりや原油価格の再高騰などによる収支状況の悪化、非製造業では前月に引き続き記録的な大雪による需要・売上の減少が主な懸念事項となっている。

業種	組合及び組合員の業況等
食料品	2月も原料高騰は続いている。今後も下がる気配がない。現状の原料価格が秋まで続いた場合、零細事業者でも昨年比較で数百万の持ち出しとなり、原油価格高騰に伴う包装資材や燃料費の負担と併せて考えると非常に厳しい状況になる。 (新潟県苺蒟 (協))
	依然として生産、出荷とも低調で動きも弱いものの、「米麴」をキーワードにした「塩麴」や「醤油麴」及び味噌、醤油等の発酵食品が話題となっており、今後の明るい兆しであるよう期待したい。 (中越醤油味噌醸造 (協))
	厳しい環境にありながらも努力によって売上増の組合員もあり、全体的には不変となっている。組合員数は若干減少傾向にあって組合環境は苦しい。 (新潟県菓子 (工))
同織維品・	アパレル各企業は納期の関係で忙しい会社が多い中、アイテムによっては3月、4月の仕事が少なく先の見通しのない企業も出始めた。これから電気やガス、石油関係も値上がりする中、安い工賃は下げ止まりのままである。売値が上がらない限り、廃業する企業が多発すると思われる。 (長岡アパレル工業 (協))
木材・木製品	例年雪の少ない当地域も大雪に見舞われ、除雪、それに関わる費用等マイナス要因が発生し、そのせいばかりではないが近年にない程の落ち込み様であった。 (村上製材 (協))
	冬期のため原木は全体的に出品量が少ないが順調に供給されており、中目以上の定尺造材が引き合いが強い。東日本大震災の本格的な住宅資材の注文はまだ入っておらず、製品の荷動きが鈍い。製材業はまだ苦しい状況が続いている。本県の前月の新設着工数は前年同月より大幅に増加したが(134.0%)、全国計では減少した(98.9%)。本県は住宅需要期でないが、エコポイントの復活効果が出たのか今後の推移を見る必要がある。 (新潟県木材 (協連))
石製品	2月の出荷はほぼ前年並みとなった。24年度の需要見込みは厳しくなることが予想される。需要と供給のバランスが取れている業界を目指しているが、もう少し時間がかかりそうである。 (上越地区生コンクリート (協))

業種	組合及び組合員の業況等
鉄鋼・金属	<p>金属洋食器、金属ハウスイアは輸入品との競合や受注不振により低調に推移している。金型製造の自動車部品業種は上昇傾向にあるものの依然厳しい状況にある。 (燕小池工業団地 (協))</p>
	<p>家庭用は円高に伴う輸入品の増加で苦戦が続くものの、一部春先のアウトドア用品、震災復興需要をにらんだ在庫の積み増しも見られるようだ。 (日本金属ハウスイア (工))</p>
	<p>各種の業種がある当組合傘下の会員事業所の中であって、下請を主とする企業にあっては、ここに来て受注量の増加が見られ、稼働率も上昇傾向にあり前年同月を上回っていると見る。 (三条中小企業共同工場 (協連))</p>
	<p>受注状況は、業種、機種によって極端な差がある。短納期・低単価だが受注残のある企業と、低調の企業の二極化がさらに進んでいる感がある。受注のある企業も短納期に対応するため、段取り変えてタイムロスが多い。一部、キャンセルが出てくる等、状況の急変に苦慮している企業もある。雪の影響もあるのかもしれないが、稼働率が下がった。1月に続き、2月も収支状況の悪化が見られる。 (中越鋳物工業 (協))</p>
	<p>新潟県内は仕事量も少なく、価格も少し持ち直し傾向にあったがここに来て下がり気味になった。関東地区においてプロジェクトや流通倉庫等が春頃より動き始め、東北の復興も随時動き出すようなので、梅雨明け頃より本県にも好影響が期待できるのではないだろうか。 (新潟県鉄骨 (工))</p>
	<p>依然として厳しい状況にあるものの原油価格の値上がり新たなリスク要因として浮上してきた。今後の動静は不透明である中で信用不安情報(倒産)が相次ぎ、昨年比で大幅に増加したとのこと。引き続き注視していく必要がある。 (協)メタルセンター</p>
一般機器	<p>3月～4月頃までは、組合員各店先仕事量を持っているが、その後が不透明との声が多い。客先での来年度の計画が明確でなく、不安材料となっている。 (亀田地区鉄工 (協))</p>
	<p>年度末に向けての在庫調整や生産調整という声が聞こえてきそうだが、今のところあまり聞こえていない。良い方向での調整であってほしいところである。 (長岡鉄工業 (協))</p>
卸売業	<p>全国的な寒波で花の育成が悪く、大部分の品目で入荷量が減ったため単価高、販売価格上昇となった。しかし2月は、新潟市街は毎週末の記録的な大雪で客足が遠のき、小売店の販売が不振で売上は減少。イベント用の桃の花のみ売上が伸長した。 (新潟花き卸売 (協))</p>
	<p>例年のことながら、1月に入り出荷数量は激減し前月比46%となる。ただし、前年同月比では上中下越ともに好調で125%となる。 (新潟県袋セメント卸 (協))</p>
商店街	<p>雪のためか商店街に人出がなく売上は減少傾向。ただしスタンプ売上は前年クリアーか？ (加茂市商店街 (協))</p>
	<p>ゆめカード販売売上高は前年比92.11%、駐車場利用売上高は87.66%。 (上越市本町四丁目 (商振))</p>
	<p>例年以上の豪雪に見舞われて、組合員各店舗の売上高は前月に比して苦戦をしているようだ。収益状況や資金繰りは好転の様子が見えるが、販売額の冷え込みは寒さ以上に厳しいだろう。昨年導入した無料駐車券サービスの磁気カード化は大変好評を載っているようだ。12月の発券枚数は、前年を2桁で上回り今年になって非加盟だった駐車場の申し入れが相次いでいる。コインパーキングは大雪の場合、使いにくいはずなので春の訪れとともに利用が高まるものと期待している。 (古町七番町 (商振))</p>
	<p>記録的な大雪の影響でJRを始めとする公共交通機関は全くあてにならず、除雪も追いつかない道路状況では一日中雪かき作業に終始して開店休業状態が続く日々であった。JR東日本の連休に伴って、時間待ちのスポット駆け込み需要があった飲食店が数店見られたが、明らかに「焼け石に水」の感は否めない。客数・客単価ともに大幅なダウンで過去最悪の月となった。 (新発田市駅前通り (商振))</p>
サービス業	<p>大雪の影響で会議等が中止。個人の予約も発生しない。 (新潟県旅館ホテル (生同))</p>
	<p>約1ヶ月間雪によって営業活動(集配)に制約があり、また来店客も少なかった。近年にない減少である。(新潟県クリーニング (生同))</p>
	<p>年度末月で少し工事が出てきた。東日本大震災から1年経ち、本格的な復興の年となる事に期待したい。 (新潟県広告美術業 (協))</p>
	<p>受注額は対前年比で1割減となっており、年度末までの新規契約は見込めない状況となっている。 (新潟県建築設計 (協))</p>
建設業	<p>円高のメリットが確認できない。コンクリート二次製品又は原油の高騰で燃料等が高止まりしている。三条地域振興局の災害復旧工事も早期発注を望む。燕市発注工事の最低入札調査価格がダンピングを助長するがごとくである。当局曰く、低価格入札を望んではない業者の問題であるとのことであるが、それでは談合入札をしなさいと言わんばかりの発言と思われかねない。 (燕市建設業 (協))</p>
	<p>例年この時期は、仕事量が極端に減るため、新年度工事が出る7月頃までは不変状態が続く。 (新潟県防水工事業 (協))</p>
運輸業	<p>年度末を控え、種々の業種の荷主より受注がやや増加傾向にある。ミニ引越の最繁忙期を控え、チラシ配布などに力を入れているが、ガソリン価格が再び上昇傾向にあり、注意している。 (赤帽新潟県軽自動車運送 (協))</p>